

これまでにない高機能鋳鉄を開発し、高信頼性部品に採用

100 余年に渡る確かな鑄造技術と、日々の新技術開発を通じて、これまでになく高機能鑄鉄を開発。高い信頼性評価を受け、エレベーター用重要部品に採用。

100 余年に渡って培った確かな鑄造技術と新技術開発

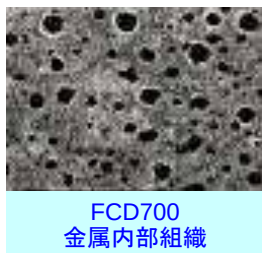
明治 33 (1900) 年創業の有限会社渡辺鑄造所は、100 年を超える鑄造材製造の実績を持ち、伝統の鑄造技術を連綿と現在に伝えている。また、伝統的な鑄造技術を守るだけでなく、「柔軟な鑄鉄品」や「溶接構造品の一体化」といった様々な新しい鑄造品を生み出しであり、このような高度な技術力は科学技術庁長官賞の受賞 (平成 2 年) 等にも表れている。

新高機能鑄鉄の採用例

従来構造／材料／工法等



網車



FCD700
金屬內部組織

新構造／材料／工法等



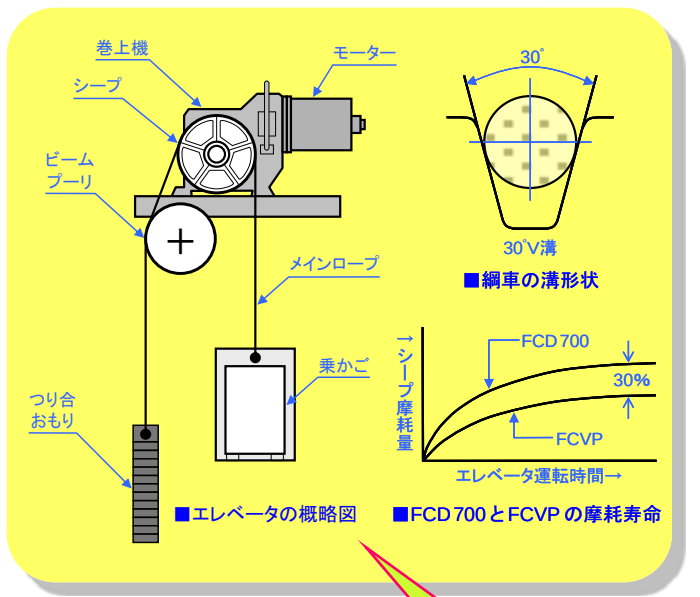
FCVP400～700 金属内部組織

■特許登録済
No 2624886
(エレベーター装置)
No 2894300
(コンパクト・パーミキュラ
黒鉛鋳鉄)

■国内・韓国・台湾・中国
に工業所有権登録済

既存鋳鉄の長所を融合した、これまでにない高機能鋳鉄を開発し、エレベーター用重要部品に採用

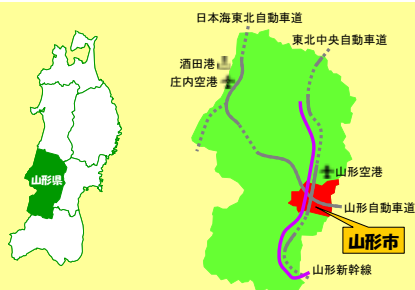
球状黒鉛鑄鉄と片状黒鉛鑄鉄の長所を融合し、耐摩耗性、強度、抗張力、耐気密性、機械加工性を兼ね備える新高機能鑄鉄を開発。高い信頼性が求められるエレベーター重要部品に展開し、大手エレベーターメーカーに採用され、産業活動や社会生活を支えている。また、この新高機能鑄鉄の特性を活かし、プレス金型部品やカム・ユニット類への応用が広がっている。



さらなる技術開発を目指して

さらに同社では、「鋳造品は無限大」との企業戦略を掲げ、山形県工業技術センターとの共同開発によって、鋳物でありながら鋼と同等の強度、耐摩耗性、機械加工性を有する次世代高機能鋳造材料を開発しており、革新的な金型製造法等への適用を目指している。

新機能鋳鉄の採用により、耐摩耗性の向上やコストダウンを達成



有限会社渡辺鑄造所

山形県 山形市鑄物町 21
1972 年（昭和 47 年）設立
TEL 023-643-7010
<http://www.watana-f.com>



代表取締役 渡辺 利隆